

「第3回ウッドデザイン賞」3年連続、2部門で受賞

積水ハウス株式会社は、10月25日（水）に発表されたウッドデザイン賞運営事務局^{※1}主催（林野庁補助事業）の「第3回ウッドデザイン賞」において、“子どもにおける木質内装空間の抗疲労効果に関する研究^{※2}”と“積水ハウス エコ・ファーストパーク内「森の教室」”が、ウッドデザイン賞を受賞しました。

今回の受賞は、「第1回ウッドデザイン賞」の「シャーウッド純国産材プレミアムモデル」による林野庁長官賞受賞から3年連続の受賞となります。

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取り組みについて特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する顕彰制度です。これによって、“木のある豊かな暮らし”が普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的としています。「ライフスタイル部門」「ハートフルデザイン賞」「ソーシャルデザイン部門」の3つの表彰部門を設け、受賞作品には「ウッドデザインマーク」の使用が認められます。

なお、11月20日（月）には、全受賞作250点の中から、最優秀賞（農林水産大臣賞）1点の他、優秀賞（林野庁長官賞）数点、奨励賞（審査委員長賞）数点が発表される予定です。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2017

「第3回ウッドデザイン賞」における、当社の受賞項目は下記のとおりです。

<ハートフルデザイン部門>

- 子どもにおける木質内装空間の抗疲労効果に関する研究

<ソーシャルデザイン部門>

- 積水ハウス エコ・ファースト パーク内「森の教室」

当社では、2007年4月に策定した「木材調達ガイドライン」に沿って、環境に配慮し、社会的に公正な「フェアウッド」調達を継続的に推進しています。また、クリーンウッド法の施行に伴い、住宅業界において先駆的に木材調達に取り組んできた企業として「生態系の破壊につながる森林破壊をゼロにする（Zero Deforestation）」を、新たに2050年に向けた長期ビジョンの一つとして掲げ、今後もさらに積極的な取り組みを続けてまいります。

（※1） ウッドデザイン賞運営事務局は、公益社団法人 国土緑化推進機構、特定非営利活動法人 活木活木（いきいき）森ネットワーク、(株)ユニバーサルデザイン総合研究所の3者から構成されるウッドデザイン賞の運営及び関連事業を推進する組織です。

（※2） 公立大学法人大阪市立大学との共同応募

<各受賞内容について>

<ハートフルデザイン部門>

■ 子どもにおける木質内装空間の抗疲労効果に関する研究（公立大学法人大阪市立大学との共同応募）

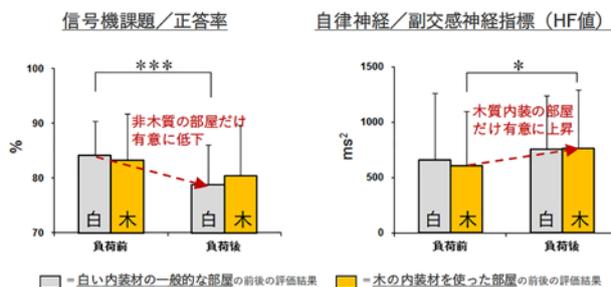
2006年に、大阪市立大学の渡辺恭良教授（現、名誉教授）らによって行われた約2000名の小中学生を対象とした疲労の実態調査において、小学4年生から6年生の9%、中学生の19%が1カ月以上続く疲労状態にあり、子どもの疲労が深刻な状況であることがわかりました。

当社はこの問題の解決に寄与するため、2014年1月より大阪市立大学と共同で抗疲労空間の研究調査を始め、同年8月に実証実験を行いました。実験では、木質内装空間と非木質内装空間を用意し、その中で子ども達に作業を行ってもらい、作業前後の疲労度を計測しました。その結果、自律神経機能や認知機能に対して影響が見られ、木質内装に抗疲労効果があることを実証しました。

本研究で得られた知見を活用し、これまで未踏の領域であった子どもの抗疲労研究の促進が期待されています。



木質内装空間（左）と非木質内装空間（右）



木質の効果 1

正答率 = 認知機能・注意力が
非木質の部屋だけ有意に低下し、
木質内装の部屋は低下が抑えられていた。

木質の効果 2

疲労の回復に関わる
副交感神経指標 (HF値) が、
木質内装の部屋だけ有意に上昇。

<ソーシャルデザイン部門>

■ 積水ハウス エコ・ファースト パーク内「森の教室」

「森の教室」は、当社の関東工場（茨城県古河市）に隣接する「積水ハウス エコ・ファースト パーク」内の、建築廃材100%リサイクルに取り組む施設である「資源の泉」の中にある体験コーナーです。見て、触れて体験することで、リサイクルへの意識を高め、建築素材としての木材の素晴らしさを再認識し、森林の現状や保全などについても学んでいただくことができます。

学校の教室をイメージしたエリアでは、日本の森林資源の大切さを学ぶために国産材の魅力を紹介するコーナーや、木材のリサイクルの仕組みなどを講義形式で学びます。また、実験コーナーでは、木材のリサイクル工程を「カバ」を使って視覚化し、遊び心も交え、楽しく学べる場となっています。

今後も地元の小学校や茨城県次世代エネルギーパーク主催の夏休み子ども見学会、企業の見学先などに組み入れていただき、教育の場として積極的な活用を推進します。



積水ハウス エコ・ファースト パーク



木材のリサイクルの仕組みを学ぶ教室



「カバ」を使って木材のリサイクルを視覚化

※ 「積水ハウス エコ・ファースト パーク」の取り組みは、下記ホームページをご参照下さい。

<http://www.sekisuihouse.co.jp/efp>